

亀山市新水道ビジョンに関する実績等報告書(令和2年度)

(上下水道部 上水道課)

計画の基本情報

計画期間	H 30 ~ R 9 年度
位置付け	本ビジョンは、平成25年3月に公表された厚生労働省「新水道ビジョン」を勘案し、第2次亀山市総合計画との整合を図りつつ、平成23年3月に策定した「亀山市水道ビジョン」に代わるものとして、亀山市水道事業の施策をまとめ、今後10年間の方向性を示す計画として、平成30年3月に策定したものである。
目的・概要	現状と将来の見通しを「安全」「強靱」「持続」の観点から分析・評価し、亀山市水道事業が抱える諸課題の解消と、人口減少問題や大規模地震対策など今後の事業を取り巻く環境の変化に的確に対応しながら、健全な事業運営を継続し、安全でおいしい水を安定供給するための施策をまとめたものである。
計画の骨格	<p>(基本理念) 次世代への使命 安全でおいしい水の安定供給</p> <p>(目標・重点施策)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全な水道 すべての市民が、いつでもどこでも安全でおいしい水が飲める水道 <ol style="list-style-type: none"> (1) 水質管理体制の強化 持続的な安全性の強化 水質監視体制の強化 (2) 安全で快適な配水システムの構築 水道施設の集中監視 快適な給水サービスの提供 (3) 環境への貢献 地球温暖化防止への貢献 環境教育の推進 2. 強靱な水道 自然災害による被災を最小限にとどめ、被災した場合であっても、迅速に復旧できるしなやかな水道 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地震対策の実施 計画的な耐震化の実施 災害時における飲用水等の確保 (2) 風水害対策の実施 風水害発生時の浸水対策 (3) 危機管理体制の強化 応急給水体制の強化 応急復旧体制の強化 3. 持続可能な水道 健全かつ安定的な事業運営が可能な水道 <ol style="list-style-type: none"> (1) 老朽施設等の計画的更新 施設等の計画的な更新 施設等台帳の継続的な整備 (2) 水道サービスの充実 水道利用者への情報サービスの向上 水道利用者への対応の迅速化 (3) 健全経営の強化 有収率の向上 適切な財源確保 事業経営の効率化 <p>(事業計画)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 水道整備年次計画 2. 財政計画

成果指標

成果指標名		単位	現状値	実績値 (R2)	目標値
1	【別紙のとおり】				
2					
3					
4					
5					

計画の実績等

取組実績	<p>水道法第20条第1項に基づき水質検査計画を定め、水質検査を実施した。 水量・水圧の適正化や省電力型ポンプ設備の導入を図るため、住山加圧ポンプ室の建設工事を開始した。 緊急時に迅速な対応ができるよう辺法寺加圧ポンプ室に警報装置を設置した。 老朽施設等の計画的な更新として、取水ポンプ取替工事等を実施した。また、老朽化による配水管改良工事及び水源から配水池を經由する地区の主要部までの経路である基幹管路の耐震化整備を実施した。 水道施設を適切に管理するため、水道施設台帳の作成業務を開始した。 有収率向上のため、第1水源区域の漏水調査をおこない修繕工事を実施した。 財源確保等のため、クレジット・スマートフォンアプリ収納の普及に努めた。</p>
成果	<p>給水栓における水質が、省令に定められた基準に適合することを確認した。 水量・水圧不足が解消されるよう、令和3年度の完成を目指し工事を進めている。 警報装置の設置により、施設の異常時における緊急体制の構築が進められた。 取水ポンプ取替等により、施設の安定稼働が維持でき、また、管路の改良工事等で、漏水箇所の改善と基幹管路等の耐震化が図れ、有収率が前年度を上回った。 水道施設の適切な管理や計画的な施設の更新が図れるよう令和3年度の完了を目指し業務を進めている。 漏水箇所を早期に修繕することで、有収率が前年度を上回った。 クレジット収納等の収納件数は増加しており、使用者の利便性の向上と財源確保が図れ、収納率が向上し、経常収支比率は目標値を上回った。</p>
総合計画 推進への 寄与度	<p>総合計画の施策の大綱1「快適さを支える生活基盤の向上」基本施策(3)上下水道の充実における施策の方向として、住山加圧ポンプ室の整備、基幹管路の耐震化整備、水道施設台帳の作成、工業用水道の整備を実施したことで、総合計画の推進に寄与できた。</p>



反省点・課題	<p>配水管や施設の老朽化が当初予定していた時期よりも早く進み管路や施設の追加工事及び修繕工事の実施により、水道整備年次計画の工程を見直す必要がある。</p>
--------	---



今後の方向性	<p>施策の計画的な推進を図るため、おおむね3年ごとの進捗状況評価と点検により、財政計画と水道整備年次計画の妥当性を検証し、計画期間内に生じた新たな課題に、柔軟に対応していくこととする。</p>
--------	---

『亀山市新水道ビジョン』成果指標等一覧表

成果指標名		単位	現状値 (H28年度)	実績値 (H30年度)	実績値 (R1年度)	実績値 (R2年度)	目標値 (R9年度)
1	加圧ポンプの整備施設数 (P28「1 安全な水道」)	施設		1	2	2	3
2	設備更新時の省エネルギー機器の導入施設数 (P28「1 安全な水道」)	施設		1	2	2	3
3	基幹管路の耐震化率 (P31「2 強靱な水道」)	%	20.3	20.3	20.8	21.5	38.0
4	主要配水池への緊急遮断弁の設置施設数 (P31「2 強靱な水道」)	施設	5	7	7	7	9
5	有収率(北中勢水道を除く) (P33「3 持続可能な水道」)	%	90.0	91.2	88.8	90.0	93.9
6	経常収支比率 (P33「3 持続可能な水道」)	%	110.1	120.39	122.92	120.67	111.3

・計画期間 平成30年度から平成39年(令和9年)度までの10年間